

新潟県シダ植物の分布追加 (4)

登坂 裕一

1. イノモトソウ *Pteris multifida* Poir.

南蒲原郡田上町羽生田 羽生田川左岸15m:TY-33211(2010. 10. 24) [新津391375-21, 環境省3次メッシュ5639-40-25]

スギ林縁、川左岸の北東向石垣に百株以上群生し、オクマワラビが混生していた。

『新潟県植物分布図集第15集』(1994年)には、田上町大沢150m:池上義信(1962年)採の記録がある。高橋務氏は、『加茂生物No. 15』(加茂生物同好会2008)の「田上のシダ7」において、前記の大沢の場所は確認できないが、新たに吉田新田の水路石垣に少数個体の生育を確認できたと報告している。筆者は1994年以降田上町のイノモトソウ生育の有無に注意を払い、高橋務氏には現地案内をしていただいたこともある。今回、田上町3箇所目の生育地を発見したので記録する。イノモトソウは典型的な人里植物であり、新潟県内の産地の多くは人為的に持ち込まれたものであろう。しかし、今回の群生地が発見は、最初の発見から約50年、一過性の生育ではなく、田上町に完全に定着しているものと考えられる。

糸魚川市徳合 <県道431号線> 50m:TY-33107(2010. 8. 21)

[高田西部381371-24, 環境省3次メッシュ5538-50-65]

スギ林縁の西向石垣に群生し、サカゲイノデ、イノデ、イヌワラビ、トラノオシダが混生していた。



写真1 イノモトソウ
糸魚川市徳合

2. ホラシノブ *Spheonomeris chinensis* (L.) Maxon

新発田市下新保 五十公野公園65m:TY-33203(2010. 10. 17)

[新発田392376-23, 環境省3次メッシュ5639-72-29]

[写真2, 3]

アカマツ・コナラ林縁の南東向急斜面に1株だけ生え、シシガシラ、ゼンマイが混生していた。



写真2 ホラシノブ
新発田市下新保



写真3 ホラシノブ
新発田市下新保

3. キヨスミヒメワラビ *Dryopsis maximowicziana* (Miq.) Holttum et Edwards

五泉市夏針<林道峠土原線>70m:TY-32904(2010. 5. 2) [加茂391374-44, 環境省3次メッシュ5639-31-87]

スギ林の平坦地に1株のみ生え、リョウメンシダ、ジュウモンジシダ、サカゲイノデが混生していた。

4. イワシロイノデ *Polystichum ovatopaleaceum* (Kodama) Sa. Kurata var. *coraiense* (H. Chist) Sa. Kurata

長岡市来迎寺 天満宮西70m:TY-32924(2010. 5. 4) [長岡384373-12, 環境省3次メッシュ5638-06-62]

落葉広葉樹とカラマツとスギの混交林の斜面に1株だけ生え、リョウメンシダ、ホソバナライシダ、シケシダが混生していた。

長岡市(旧越路町)の分布は『新津植物資料室年報2007』にも報告したが、いずれも1株だけである。近辺のどこかに群生地があると思われる。

5 ハシゴシダ *Parathelypteris glanduligera* (Kunze) Ching

新発田市下新保 五十公野公園65m:TY-33204(2010. 10. 17)
 [新発田392376-23, 環境省3次メッシュ5639-72-29] [写真4]
 アカマツ・コナラ林の東向急斜面に3株ほど生え、ゼンマイ、
 シシガシラ、イワヒメワラビが混生していた。



写真4 ハシゴシダ
 新発田市下新保

分布新上限

コバノイシカグマ *Dennstaedtia scabra* Moore

五泉市小山田 鳴沢峰・菅名岳間尾根825m:TY-33226(2010. 10. 31) [津川392375-11, 環境省3次メッシュ5639-42-43]

ササ草原縁に百葉以上群生していた。群生地は、草木が刈払われた登山道にあり、付近には、ヘビノネゴザ、シシガシラ、ヤマソテツ、リョウメンシダが生えていた。

十日町市峠 小豆峠北455m:TY-33115(2010. 8. 22) [松之山温泉383371-14, 環境省3次メッシュ5638-54-52]
 落葉広葉樹林下、尾根筋の急斜面に群生し、ヤワラシダが混生していた。

『新津植物資料室年報2008』で五泉市大蔵岳690m地点を新上限としたが、さらに高海拔地点、五泉市小山田825mを記録する。

コバノイシカグマは、図鑑等多くの書籍に、山裾、山麓に生えると紹介されるが、上記2地点は山の尾根筋である。

高海拔分布地の追加

分布の新上限ではないが、顕著な分布地を記録する。

1 ホソバイヌワラビ *Athyrium iseanum* Rosenst.

五泉市仙見谷 毛石山530m:TY-32961(2010. 5. 30) [加茂391374-43, 環境省3次メッシュ5639-31-39]

落葉広葉樹とスギの混交林の斜面に群生し、ヤマイヌワラビが混生していた。

[県内分布上限：長岡市成願寺町八方台540m(新津植物資料室年報2009)]

2 ミドリヒメワラビ *Macrothelypteris viridifrons* (Tagawa) Ching

長岡市千谷沢<八石山林道>310m:TY-33184(2010. 10. 3) [岡野町383372-34, 環境省3次メッシュ5538-75-94]

ススキ草原縁の斜面に生え、ハリガネワラビ、シケシダが混生していた。この分布地点よりやや南にはアイヒメワラビ(ミドリヒメワラビ×ヒメワラビ)と思われる個体が生えていた。

[県内分布上限：五泉市高石320m(新津植物資料室年報2009)]